

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	タートル体力運動能力開発ラボ TURTLE KIDS (放課後等ディサービス)		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 13 日		～ 令和 8 年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 13 日		～ 令和 8 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	オリジナルの運動用具を用いて運動遊びを通して、感覚統合トレーニングや、利用児ひとりひとりの発達段階に合った支援を行っている。苦手なことを克服し「できた」の喜びをたくさん経験していくことで達成感ややる気につなげられるような活動内容になっている。	身体全体を使った粗大運動は毎日取り入れ、手や指先などの筋肉を使う微細運動も日常生活動作等を通して毎回の活動の内容に取り入れています。普段使わないような動きを意識して取り入れ、可動域を広げたり、元気な身体を作る体力作りを意識して行っている。	系列事業で体操指導30年の実績をもとに体操指導員による運動遊びを通して楽しく取り組める活動と、理学療法士・作業療法士による専門的分野から個々の身体の成長に合ったプログラムに沿って支援を行っている。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう職員間で話し合いを行いながら工夫しながら取り組んでいる	個別の部屋はないが一人になる空間は作るようにし、その時々利用児の状況に合わせて個別で対応を心掛けている	障害者向けオンラインの動画研修を取り入れ、職員のスキルアップを図っている
3	専門職(理学療法士・体操指導員)を配置している。	専門職のアドバイスのもと、遊具等の効果的な使い方、こどもの発達課題に応じた支援の仕方、保護者への関わり方等を工夫しながら取り組んでいる	実態把握や支援に関する研修の機会を設けたりしている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	受診経歴書についてや、かかりつけ医との連携が気薄	てんかんの児童に対して職員から保護者様に声掛けて病院に行くことがあったが、事前の情報収集が出来ていなかった	アレルギーに対しての情報は通所前に聞き取る事は出来ていたが、てんかんに対しての情報収集は見落としていた。今後は幼少期からのてんかん発作の有無も必ず聞き取る
2			
3			